

## 国際交流・社会貢献等の概要

### ●国際交流活動の推進

#### ○海外プログラム

大学における国際交流活動の推進に向けては、国際ビジネス学科を設置して以来様々な取り組みを実践してきた。その1つに授業科目として「グローバルコミュニケーション」を新たに設け、国際社会に対応できる人材の育成を図っている。これは本学が提供する海外プログラム（国際交流プログラム、海外研修、スポーツマネジメント研修等）や個人的な観光旅行で外国に渡航した際、臆することなく英語でコミュニケーションを取れる能力を養い、そして将来的に仕事で英語を使用することに対する希望と自信を持ってもらうことを目指す講義となっている。単なる語学学習ではなく、国際的な感覚、視野の広がりをも身に付けてもらい、実践として海外研修等への参加意識も高めている。そのため新たに規程も整備し、一定要件のもと海外研修の参加費補助制度も設けた。この授業は伊勢崎キャンパス、高崎キャンパスの両キャンパスで開講されており、受講する学生たちも定着している。コロナ禍では海外渡航研修は中断し、代替として、遠隔で行われる語学研修プログラムを安価で参加希望者に提供していたが、コロナ禍以降アメリカ、フランス、オーストラリアへの渡航研修を再開している。令和7年3月に実施された米国スポーツ研修では、アスレティックトレーナーの役割についての講義に加え、競技中の事故を想定したワークショップに参加し、アスリートへの専門的なサポート体制を学んだ。研修の合間には、メジャーリーグベースボールのオープン戦を観戦し、アナウンスや観客誘導などプロスポーツならではの試合運営の質を体感するなど、大学やスポーツビジネスの最前線を体験した研修となった。

#### ○スポーツにおける留学生受け入れ

さらにはここ数年スポーツにおいても海外からの留学生を積極的に受け入れている。人数はそれほど多くないものの、アジア圏以外にも留学生が定期的に留学している。競技ではバスケットボール、サッカーが主であり、継続的に留学生を迎えている。こうしたスポーツを通しての定期的な留学生の受け入れにより、海外関係機関との連携協定締結なども期待できる。

### ●大学間連携

従来から本学を含む群馬県内5大学（高崎商科大学、関東学園大学、共愛学園前橋国際大学、高崎健康福祉大学）による合同の企業研究会を開催していたが、ここでの大学間交流を基にして、より強固な連携協力関係を結ぶべく、平成27年度から6大学と株式会社スパンによる学生の就職支援を共同して行っていくための協定を締結している。これにより各大学での就職情報等を共有でき、人事交流なども盛んに行われることになり、学生たちが効率的な就職活動を行うため、様々な形で支援できるよう対応が図られている。今年度は20

社の企業が参加した 26 卒合同会社説明会が、7 月 12 日に共愛学園前橋国際大学で開催され、後援を大学として行った。

## ●産学官連携

### ○包括連携協定等の締結

上武大学では平成 26 年度から、地域社会の発展と人材育成への寄与を目的として、教育、文化、福祉、健康、地域産業、国際交流などの分野において連携、協力するための協定を群馬県内各自治体と結んだ。まず平成 27 年 2 月に伊勢崎市との協定をとりまとめ、続いて玉村町、富岡市、渋川市、藤岡市の大学近隣 5 市町村との包括協定を順次結んでいる。協定締結以前から協力関係にあった上武大学と近隣市町村であるが、これにより様々な分野で一層の協力・連携関係が築かれることになっている。具体的には各市町村やその教育委員会が主宰して開催する市民・町民向けのスポーツイベントの運営補助や競技補助業務や、各市町村が運営する施設で玉村町陸上教室などの文化事業の開催などがある。なお高崎市とは部分的協定ではあるが、災害時における施設利用に関する協定を取り交わし、高崎キャンパスのある新町地区の防災に関して、高崎市と連携しながらその対応策の検討を行うこととなっている。

### ○文部科学省主催「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」への参画

標記補助事業には群馬県も積極的に関わり、県が主導する形で群馬県への就業率向上を目的として、共愛学園前橋国際大学が核となり、本学と高崎商科大学、明治学院大学が協力する参加校として連携し、平成 27 年度補助事業の採択を受けた。ここには群馬県をはじめとして、高崎市、前橋市、伊勢崎市、富岡市の自治体も加わり取り組みを推進している。大学卒業後の群馬県内への就業率上昇を目標に掲げ、大学、自治体そして県内の企業も積極的に協力していく体制が整い、本学をはじめとする各大学も協力して具体的な取り組みを検討・推進している。

### ○群馬地域大学連携協議会への参画による地域貢献

群馬県が主体となり、県内の自治体が抱える問題・課題解決に大学が積極的に加わり、ともに地域貢献事業を実践していくための組織。本学もこの協議会に参画しており、その中で渋川市の案件として、総合型スポーツクラブの運営協力や、スポーツイベントなどの競技補助などの業務において協力している。

#### ○群馬クレインサンダーズとの包括連携協定を締結

令和7年4月30日、本学と群馬クレインサンダーズを運営する群馬プロバスケットボールコミッションは、バスケットボールを通しての教育・人材育成、学術研究、地域貢献の推進を図るための包括連携協定を結んだ。具体的には、主に小学生を対象としたバスケットボールスクールやバスケットボール体験を実施する予定である。研究分野では、選手のサポートやコーチング技術を向上させる学術的な手法を想定している。本学バスケットボール部の強化のみならず、バスケットボールスクールを通して群馬県内でより良い人材を育成し、県内のスポーツ界を活性化することを目指している。

#### ○高大連携の推進

群馬県内の高等学校のうち、吉井高校、高崎東高校、榛名高校、桐生商業高校、高崎高等特別支援学校の4校とは高大連携協定を締結している。内容として高等学校におけるカリキュラム支援や、テーマ学習の共同研究・発表、共同のボランティア活動、キャリア教育支援、などである。また、本学では税理士教育に特化しており、教育内容を理解していただくために一部の商業高校とも連携を結んでいる他、令和7年8月26日に「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」の認定を受けたため、今後は工業高校との連携も視野に入れている。

#### ●社会貢献活動と地域連携

○本学高崎キャンパスがある高崎市新町において、地元の商店連盟・商工会議所と協定を締結し、新町地区の活性化のために、学生達も協力しながら様々な活動を行っている。具体的には新町祭り及び新町商工祭への企画参画と運営補助、などがありその他にも学生たちはいろいろなボランティア活動により、町の運営に協力している。また富岡製糸場と同様の歴史的価値のある建造物、新町紡績所の世界遺産追加登録に向けて、「よみがえれ！新町紡績所の会」とも包括協定を締結し、大学と町を挙げて、文化的活動を推進している。なおこうした学生たちの積極的なボランティア活動を大学としても評価しており、「社会貢献実践」という新たな授業科目を導入し、学生のボランティア活動に対して単位も付与している。これらを取りまとめる組織として、大学にはボランティアセンターも設置している。例年行われる活動として、冬季に高崎キャンパスの側を流れる烏川に飛来する白鳥保護を目的とした河川敷の清掃活動に「社会貢献実践」受講者とボランティアサークルの学生が参加し、環境保全に努めている。

新町商工会議所との連携では、例年夏に開催される新町ふるさと祭り「花火大会・灯籠流し」ではボランティアサークルの学生が、会場の警備・誘導を行い、多くの人で賑わった祭りを裏方として支えている。

### ○救急救命士コースの活動

ビジネス情報学部・スポーツ健康マネジメント学科・救急救命士コースの活動拠点である救急救命センターには実際の救護活動に利用される様々な機械器具や設備があり、救急車も配備されている。現時点では学生たちだけで救護活動などを展開することは難しいが、救急救命士の資格を持った教員が常日頃指導を行うことで、補助活動等は実践できるようになっている。例年開催されている群馬県内の大イベントである、「群馬マラソン」ではコースの学生が救護ボランティアとして大会の運営に係わり、AED 運用や、移動救護、入場チェックの役割などを果たしており、大会の安全・安心に大きく貢献している。

### ○スポーツトレーナー活動

本学の柔道整復師コースの学生達で構成されているスポーツトレーナー部は、大学との協定を締結している自治体が企画・運営するスポーツ事業に積極的に参画しており、学びを実践できる場としても機能させている。具体的には以下に挙げる競技会等において、独自のブースを設置し、参加者たちの競技前後の身体的ケアを行っている。令和6年5月19日に板倉町で行われた2024 全日本大学トライアスロン選抜大会では、学生6名と引率教員2名がアスリートのためのケアブースを設営した。スタート前の選手にはストレッチやテーピング、ゴール後の選手にはマッサージやアイシングなどのケアを実施した。学生選手及び一般選手合わせて約70名の利用があり、本学学生達の活動に対して、選手及びスタッフから好評をいただいた。その他、「第12回 榛名山ヒルクライム in 高崎」、「2024年 全日本学生スプリントトライアスロン選手権」、「第34回 ぐんまマラソン」、「第20回 伊勢崎シティマラソン」等の群馬県内のスポーツイベントにケアブースを出展し、身体的ケアや負傷者に対する救護活動を行った。

### ○授業等を通じたボランティア活動

#### ・新町花水木まつりボランティア

令和6年4月21日

学生5名が参加

会場設営、出し物の運営（メダカすくいと抽選会）、撤去作業、清掃作業を行った。

#### ・新町七夕まつり

令和6年7月4日、6日、7日

学生17名が参加

七夕飾りの設置・撤去作業、縁日コーナーにて出店（メダカすくい、ヨーヨーつり、かき氷）の販売及び販売支援を行った。

- ・オトナヨミセ

令和6年7月6日

学生19名が参加

新町銀座通りに新町内外から出店した屋台で自慢のグルメの販売や路上ライブが行われる。会場の準備・運営・片付け、商工会青年部出店の支援、会場内ゴミ拾い、ゴミ袋交換を行う。

- ・新町ふるさと祭り「花火大会・灯籠流し」

令和6年8月17日

学生3名が参加

かがり火台、ぼんぼり、提灯、車両侵入禁止標識、コーン等の設置。花火大会中は駐車場周辺の交通整理、誘導を行い、終了後は標識やコーンの撤去作業を行った。

- ・高崎まつり

令和6年8月24日、25日

学生2名が参加

2日間にわたり開催されたまつりでは、備品管理、花火警護、チケットもぎり、ダルマ神輿先導など多岐にわたる業務を行った。

- ・SHINMACHI FESTA2024

令和6年10月12日

学生2名が参加

準備・運営・片付けの支援、各ブースの支援（物品販売、受付等）、会場内のゴミ拾い・ゴミ袋交換

- ・たかさきハロウィン

令和6年10月12日

学生4名が参加

スタンプラリー（お菓子の配布）、仮装コンテスト、各種イベントの運営

- ・しんまち商工祭

令和6年11月13日

学生11名が参加

イベント会場設営、機材運搬、会場整備等を行った。

このまつりでは、滝川一益の出陣式や武者行列、神流川合戦太鼓が実施され学生6名が、鎧武者約役となり、武者行列・出陣式に参加した。

- ・キングオブパスタ

令和6年11月10日

学生3名が参加

会場受付の手伝い・会場誘導など来場者整理、各店舗での手伝い、会場内イス、テーブル等の整理片付けを行った。

- ・白鳥見守り隊への参加

令和7年1月11日

学生4名が参加

高崎キャンパスのほど近くを流れる烏川河川敷および上武大学周辺において、飛来した白鳥の保護を目的にゴミ拾いを行った。河川敷のゴミは流れてきたもの、人が捨てたと思われるペットボトル、空き缶、缶ゴミなどかなりの量が見られた。飛来した白鳥も観察できた。